



3

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2020年5月24日号

編集 / 毎日新聞社販売局D・クリエーションセンター

特集 **ワイド**



「別の医療崩壊の波が押し寄せる恐れ」

日本医師会・横倉会長インタビュー

27日(水) = 夕刊特集ワイド



新型コロナウイルスの感染拡大は幸いにも日本国内で収束に向かっている気配で、感染者数の増大による医療体制の崩壊という最悪の事態はいったんは回避さ

れそうです。ところが、今度はまた別の医療崩壊の波が押し寄せる恐れがあると指摘されています。「コロナの影響で病院経営が厳しさを増している」と訴える

日本医師会トップの横倉義武会長 = 写真 = にインタビューし、日本の医療の現実を取材しました。



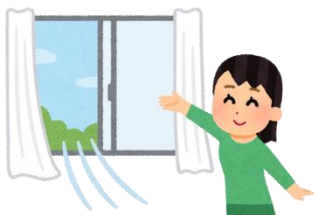
感染症と闘う

効率いい換気とは

27日(水) = 暮らしナビ面

自宅で新型コロナウイルスに感染したとみられるケースが報告されています。家庭での感染を防ぐには、通常の手洗いなどに加え、換気が大切になります。感染対策を検討する政

府の専門家会議は「こまめな換気」と呼び掛けています。そこで、上手な換気の仕方について、専門家や企業に聞きました。



力を入れずに介助したい

31日(日) || 暮らしナビ面

理学療法士の福辺節子さん(66)は「力のいらぬ介助術」を提唱しています。交通事故で左下肢が義足

になった経験から、この介助術を編み出しました。高齢者を椅子などから移動させる介助は、体の負担が大き

く、ひざや腰を痛める人も少なくありません。「相手の力を引き出すことが大事」と言う福辺さんに秘訣を聞きました。

論点

始まるコロナとの「共生」時代

27日(水) = オピニオン面

「緊急事態宣言」の解除が進み、新型コロナウイルス感染症は、各地で第1波を乗り越えつつあります。けれども、ワクチ

ンの開発には時間を要し、ウイルスとの戦いは長期戦となりそうです。「withコロナ」と言われる時代、私たちはどんな社会

を目指し、どのようにウイルスと共生していくことになるのでしょうか。専門家に聞きました。



竹橋の窓辺から
編集後記
おうち時間の需要を捉え、ネットフリックスなどに代表される定額制の動画配信サービスが人気です。定額制のサービスは、通称「サブスクリプション」と呼ばれるもので、時代はサブスク全盛の様相を呈しています。しかし、百年以上前からこのサブスクでお客様に商品を提供してきたのは、実は新聞です。「元祖サブスク」とも言える新聞が、この時代にどんな価値を提供できるのか。値

※都合によっては掲載日や内容を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。